

新型コロナウイルス感染症対策としての 臨時休業中の学習保障の取組

富屋特別支援学校

I はじめに

新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止のため、国や県の方針を受け、令和2年3月から5月までの約3か月間、本校でも臨時休業の措置が取られた。時々刻々と変化する状況の中、家庭等で過ごす児童生徒の健康状態を把握し、学習をどのように保障するのか、迅速な対応が必要であった。

そのような中、管理職の指導の下、教務部、学習指導部、健康安全指導部等が中心となって進められた健康観察・学習保障の取組の概要が本報告である。今後、新型コロナウイルス感染症を含め、予測できない様々な事態が起きた際に、本報告が学校運営を考える手掛かりとなるよう、整理することとした。

II 学習保障の取組

1 学習保障の実態

(1) 健康観察と学習状況の把握

① 各家庭における記録

臨時休業中における児童生徒の健康観察、学習状況の把握のため、図1のような用紙を各家庭に配付した。健康面は体温と体調、学習面は内容を「学習課題」「生活課題」「体力づくり」の三つに分け、取り組んだ課題を記入できるようにした。

用紙の作成に際して配慮したことは、取り組んだ課題にチェックを付け、内容を短い文で書けるようにし、具体的な例示も載せることで、家庭で無理なく継続的に記入できるようにしたことである。この用紙は職員の意見を基に改良を加えながら、登校日や各家庭への課題の郵送の際に計6回配付し、児童生徒の健康観察や学習状況の記録資料として活用した。

学 部	年 組	氏 名	
日付	体温	体調	学習したこと
記入例	36.8℃	◎・不良	☒ 学習課題（なまえのなぞり書き1枚やりました。） ☒ 生活課題（テーブルを一人でふくことができました。） ☒ 体力づくり（パプリカのダンスを2回おどりました。）
4/23	木	良・不良	☐ 学習課題（ ） ☐ 生活課題（ ） ☐ 体力づくり（ ）
24	金	良・不良	☐ 学習課題（ ） ☐ 生活課題（ ） ☐ 体力づくり（ ） ☐ 学習課題（ ）

図1「臨時休業中の健康観察・家庭学習について」

② 一斉メール

①の家庭での記録と併用し、児童生徒の健康状態や様子を即時的に把握するため、週2回、全家庭に一斉メールを送信し、保護者に回答していただいた。一斉メールを登録していない家

庭には、担任等が電話にて適宜連絡をした。

3月から実施していたが、4月からは内容を見直し、次の5つの設問で継続した。

- 1 お子様の体調はどうか（不良の場合は体温と症状を記入）
- 2 御家族で体調の悪い方はいるか（いる場合は誰が、どんな症状かを記入）
- 3 日中どこで過ごしたか（家庭、福祉施設等）
- 4 主な家庭学習の内容は何か
- 5 電話や家庭訪問による相談希望の有無

この一斉メールにより、児童生徒に直接会えない状況の中でも家庭と学校がしっかりとつながりを保ち、家庭の不安に迅速に対応することができた。

(2) 動画の配信

① 各学部に応じた内容

児童生徒が家庭で学習を進めるに当たり、身近な教師が出演する動画の教材があることで、より分かりやすく、興味をもって学習に取り組めるのではないかと考え、各学部で学習動画を作成し、本校WEBページより配信した。

動画の内容は年間指導計画等に基づき、臨時休業期間に予定されていた指導目標・指導内容を基本とすることで、可能な限り学習空白を少なく、また教科等に偏りがでないようにした。各学部の教員が授業内容を分担し、学校全体として複数の動画が週に1回のペースで配信された。

【動画の具体例】

- ・ 中学部2年 生活単元学習「季節の草花」
- ・ ねらい：身近な春の草花を知り、その特徴に気付くことができる。

・ 内容：学校周辺を教師が探検しながら、春の草花を紹介。それぞれの特徴などを解説する。最後に、集めた春の草花で三人の教師が花瓶に花を生



け、「草花コンテスト」を開催。家庭へ配付したワークシートで振り返りを行えるようにするとともに、どの生け花が良かったか各生徒に投票してもらうなど、双方向のしかけで興味をもてるようにした。

動画を視聴した生徒や保護者からは「動画を見ながら楽しんで学習できた」「休業中も学校とのつながりを感じることができた」な

どの意見が寄せられた。

② 感染予防に関する内容

健康安全指導部では、臨時休業が始まった昨年度末、琉球新聞に掲載された新型コロナウイルスに関する情報を、許可を得て保護者に提供するなどしてきた。その後、休業期間が続く中、学習指導部と連携し、児童生徒に向けた感染予防の動画を配信することとした。内容は、感染対策の基本となる手洗いや、「密閉、密集、密接」の3つの密を避けるというものである。管理職の助言の下、養護教諭が中心となって作成した。

手洗いについては、児童生徒が簡単な歌や踊りで楽しみながら学べるよう、ビオレの「手洗いのうた」を活用し動画を作成した。また、3密に関しては、幅広い年齢で知られている「サザエさん」のオープニング曲を使用し、替え歌「気をつけよう3密！」を作り、紙芝居風に文字や絵も加えるなどして覚えやすいよう工夫した。これらの歌の配信に当たっては、著作権に関する許可が必要であったため、情報教育係との連携も不可欠であった（本稿2(1)参照）。



「気をつけよう3密！」

(3) 課題の配付

課題の配付は計四回行った。作成に当たっての基本方針は、「年間指導計画や個別の指導計画に基づき、前述の三項目（学習課題、生活課題、体力づくり）を踏まえる」「家庭で繰り返し取り組めるものにする」「評価につながるよう、取組を残す」の3点である。個別の指導計画の指導目標・指導内容の設定については、年度の切り替え時期のため、児童生徒の実態把握が十分にできない状況だったが、前担任や前籍校等からの情報を参考に進めた。

一回目の課題配付は始業式（新入生は入学式）に手渡しで行い、二回目の配付は4月末に郵送で行った。郵送は封筒のサイズがA4で重量に制限があり、学習プリントが中心となったが、この頃、動画配信を開始したことで、動画を見ながら取り組める内容が工夫された。5月中旬、三回目の配付は、児童生徒にとって、具体物の教材の方が興味をもちやすく、学習効果が高いことから、本人と保護者に来校を依頼し、手渡しで行った。この際、これまで取り組んだ課題を受け取り、学習状況を確認することで、分散登校が始まった5月末からは、より実態に応じた課題を用意することができた。

配付した課題は、「臨時休業中の健康観察・家庭学習について」の用紙と一緒に、一人ずつのフ

ァイルに綴じ込み、学校再開後の授業に活用するとともに、評価の資料とした。

(4) 学習評価の工夫

長期間、通常授業の実施が困難だったことを踏まえ、評価も教科等ごとには行わず、三項目（学習課題、生活課題、体力づくり）で行うこととした。その際、家庭で取り組んだ課題と学校再開後の授業で行ったものの中から、特に成長が見られたことや、自ら主体的にこつこつと取り組んだ姿などを評価し、記載することとした。例年5月末であった個別の教育支援計画の保護者への配付は、前期の評価を記載し、10月に行った。

2 情報環境の整備

(1) 著作権について

配信する動画にBGMとして市販されている楽曲を使用したい、楽曲を替え歌にして使用したいといった要望が職員からあり、著作物について一つ一つ許可を取る必要があった。著作権や著作隣接権については、音源を管理している会社へ電話連絡やホームページから問い合わせを行った。また、市販されている楽曲については、音楽出版社と著作権を管理している会社が別だったため、その都度、日本音楽著作権協会（JASRAC）への確認が必要であった。その他、ビオレの「手洗いのうた」では、企業に直接問い合わせることで、使用や改変の許可を得ることができた。

(2) データ容量について

動画の配信については、当時、セキュリティー上の制限があったため、YouTubeなどの動画共有サービスは利用せず、本校のWEBページ上のグループスペース内に、保護者のみが閲覧できる“にこここホームルーム”を開設し行った。しかし、グループスペース内に挿入できる動画のサイズは決まっており、再生時間が短くなることで内容が制限されてしまうことが懸念された。そこで情報データ係が、フリーソフトを使用し、動画自体を挿入できるサイズまで縮小することで、再生時間に大きな制限がなく、様々な内容の配信ができるようになった。

Ⅲ まとめ

本校は児童生徒、職員を合わせると470名を超える大規模校であり、油断をすれば感染の可能性はかなり高いと言える。そのため、基本的な感染防止対策を徹底することに加え、食堂使用の変更やスクールバスの増便などの対応を進めてきた。

今年度、本校の教育目標は「一人一人の障害の状態等に応じたきめ細かな教育を行い、自信と意欲を育てることにより持てる力を伸ばし、社会において自立的に生きていく基礎を培う」である。それは、臨時休業中か通常登校かに関わらず変わるものではない。今後も、職員で知恵を合わせ、児童生徒に元気を届け、自信と意欲を育てられるよう取り組んでいきたい。